

新変額個人年金保険GF

投資型年金Ⅱ

2024年度 特別勘定の現況

●投資環境(2024年度)

日本株式市場

当年度の国内株式市場は小幅に下落しました。年度初、日本経済のデフレからの脱却、企業がバランズの改善などから、2024年7月初めにTOPIXは大きく上昇して、史上最高値を更新しました。その後、7月の金融政策決定会合後に行われた日銀総裁の記者会見の内容が利上げに積極的と受け止められたほか、米国の景気減速懸念により円高米ドル安が進行したことなどから、国内株式市場は歴史的な暴落となりました。しかし、日銀副総裁の発言内容が急速な利上げに慎重な姿勢を示したほか、米国では9月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で0.5%の利下げが実施されたことなどから安心感が広がり、国内株式市場は反転して、緩やかながらも上昇基調に転じました。11月に米大統領選でトランプ氏が勝利すると、関税強化への警戒や日米金融政策への思惑から、国内株式市場は年度末にかけて一進一退の動きが続きました。

外国株式市場

当年度の外国株式市場は上昇しました。年度前半は、米国で雇用統計が事前予想を下回り景気後退懸念が高まったことなどから、外国株式市場は下落する場面もありましたが、2024年9月にFRB（米連邦準備制度理事会）が0.5%の利下げを実施したことに加え、年内の追加利下げの可能性を示唆したことが好感され、上昇しました。年度後半は、米国で2024年7-9月期の企業決算が事前予想を上回り堅調な業績が好感されたことや、米大統領選でトランプ氏が勝利し、減税や規制緩和への期待が継続するなか、外国株式市場は上昇基調で推移しました。年度末にかけては、トランプ政権がカナダに対する追加関税を発表するなど、関税政策に対する不透明感や政府機関閉鎖への懸念が高まったことなどを背景に、米国経済の先行きに対する懸念が広がり、外国株式市場は下落しました。

日本債券市場

当年度、10年国債利回りは上昇しました。年度初、日銀による追加利上げの思惑や国債買入減額観測が高まったことなどから、10年国債利回りは1.1%程度まで徐々に水準を切り上げる展開となりました。2024年7月末に日銀が追加利上げを決定した直後に株式市場が急落した局面では10年国債利回りは0.8%程度まで大幅に低下しましたが、その後米国による財政拡張政策への警戒感から円安が進行したことを背景に、追加利上げ観測が高まったことなどから、12月末には1.1%程度まで上昇しました。2025年1月に追加利上げを決定後も、日銀関係者から利上げの継続に対する前向きなコメントが相次ぐなか、年度末にかけて10年国債利回りは一段と上昇し、1.5%程度の水準で当年度を終えました。

外国債券市場

米国債利回りはおおむね横ばいとなりました。年度前半は、米国で景気・雇用に鈍化の兆候が見られ、FRBによる利下げが実施されたことから、米国債利回りは低下しました。年度後半は、米国の経済指標の多くが堅調であったことやトランプ氏の米大統領選勝利を受けた財政悪化懸念などを背景に過度な利下げ期待が後退し、米国債利回りは上昇しましたが、年度末にかけては軟調な経済指標が続いたことやトランプ政権の関税政策が事前の予想よりも穏健だと思われたことなどから低下し、当年度を終えました。

ドイツ国債利回りは上昇しました。年度前半は、ECB（欧州中央銀行）高官による利下げ期待を後退させる発言などからドイツ国債利回りは上昇しましたが、年度半ばにかけて米国債利回りに連動して低下しました。年度後半にかけては、堅調な経済指標や欧州全体の防衛力強化の議論などを背景とした財政拡張リスクの高まりなどにより、ドイツ国債利回りは再度上昇に転じて当年度を終えました。

外国為替市場

米ドル円為替レートは小幅に円高米ドル安となりました。年度前半は、日銀が金融緩和姿勢を維持するなか、FRBが金融引き締め姿勢を維持したことにより、円安米ドル高基調で推移しました。その後、財務省による為替介入などが意識された一方、米国では景気後退懸念が高まったことから、円高米ドル安が急激に進行しました。年度後半は、日銀が追加利上げを急がない姿勢を見せたことやトランプ氏の米大統領選勝利により先行き不透明感が強まったことなどから円安米ドル高が進行しましたが、その後日銀が2025年1月に0.25%の利上げを実施し、今後の追加利上げも肯定する姿勢を見せたことから再度円高米ドル安となりました。

ユーロ円為替レートは、小幅に円高ユーロ安となりました。年度前半はドイツ国債利回りが上昇するなか、日銀が金融緩和姿勢を維持したことにより円安ユーロ高が進行しましたが、その後、ドイツ国債利回りの低下や、財務省による為替介入や日銀による追加利上げが意識されたことにより、円高ユーロ安となりました。年度後半は上下に振れながらもおおむね横ばい圏で推移しました。

●運用実績の推移および運用方針

- ①当期の運用実績の推移 各特別勘定の運用状況をご参照ください。
- ②当期の運用方針 当社は、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。
- ③今後の運用方針 当社は、今後とも各特別勘定の運用方針および管理運営方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。

当社は2024年度決算(決算日：2025年3月31日)を行いました。当資料は2024年度の運用状況をご報告するものです。
4ページ以降は特別勘定レポート(2025年3月末現在)からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認ください。



400501

●特別勘定資産の内訳(2024年度末)

(単位：百万円)

区分	金額					
	日本株式 MA	日本株式中小型 MA	日本株式成長型 FA	世界株式 AA	世界債券ヘッジ型 MA	世界債券フリー型 MA
現預金・コールローン	5	3	3	15	0	1
有価証券	316	324	196	762	25	119
公社債	-	-	-	-	-	-
株式	-	-	-	-	-	-
外国証券	-	-	-	-	-	-
公社債	-	-	-	-	-	-
株式等	-	-	-	-	-	-
その他の証券	316	324	196	762	25	119
貸付金	-	-	-	-	-	-
その他	-	3	-	-	6	-
貸倒引当金	-	-	-	-	-	-
合計	321	331	199	777	32	121

※単位未満切捨て

(単位：百万円)

区分	金額			
	グローバル・バランス GA	世界バランス FA	米ドル・マネー MA	マネー・プール A
現預金・コールローン	0	7	0	71
有価証券	71	438	3	-
公社債	-	-	-	-
株式	-	-	-	-
外国証券	-	-	3	-
公社債	-	-	-	-
株式等	-	-	3	-
その他の証券	71	438	-	-
貸付金	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
貸倒引当金	-	-	-	-
合計	72	445	3	71

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2024年度)

(単位：百万円)

区分	金額					
	日本株式 MA	日本株式中小型 MA	日本株式成長型 FA	世界株式 AA	世界債券ヘッジ型 MA	世界債券フリー型 MA
利息配当金等収入	9	25	18	39	0	0
有価証券売却益	-	-	-	-	-	-
有価証券償還益	-	-	-	-	-	-
有価証券評価益	145	153	98	339	0	3
為替差益	-	-	-	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-	-	-	-
その他の収益	-	-	-	-	-	-
有価証券売却損	-	-	-	-	0	-
有価証券償還損	-	-	-	-	-	-
有価証券評価損	148	156	120	413	0	2
為替差損	-	-	-	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-	-	-	-
その他の費用及び損失	-	-	-	-	-	-
収支差額	6	22	-3	-34	-0	0

※単位未満切捨て

(単位：百万円)

区分	金額			
	グローバル・バランス GA	世界バランス FA	米ドル・マネー MA	マネー・プール A
利息配当金等収入	1	8	0	-
有価証券売却益	-	-	0	-
有価証券償還益	-	-	-	-
有価証券評価益	17	235	0	-
為替差益	-	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-	-
その他の収益	-	-	-	-
有価証券売却損	-	-	-	-
有価証券償還損	-	-	-	-
有価証券評価損	19	236	0	-
為替差損	-	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-	-
その他の費用及び損失	-	-	-	-
収支差額	-0	8	0	-

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2024年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
日本株式 MA	ブラックロック日本株式オープン	28,912	54,900	9,067	8,799
日本株式中小型 MA	ブラックロック日本小型株オープン	2,001	19,000	5,752	29,384
日本株式成長型 FA	フィデリティ・日本成長株・ファンド	5,009	18,500	8,749	14,995
世界株式 AA	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ（年金つみたて向け）	-	-	21,520	44,269
世界債券ヘッジ型 MA	JDF ワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）	6,254	6,850	6,598	7,383
世界債券フリー型 MA	JDF ワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）	-	-	554	1,161
グローバル・バランス GA	ダ・ヴィンチ VA	-	-	3,108	4,226
世界バランス FA	フィデリティ・バランス・ファンド	-	-	5,697	7,179
米ドル・マネー MA	ブラックロック・グローバル・インベストメント・シリーズ - スーパー・マネー・マーケット・ファンド	1	189	5	748
マネー・プール A	-	-	-	-	-

※単位未満切捨て

●保有契約高(2024年度末)

(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
新変額個人年金保険 GF 投資型年金 II	37	2,413

※単位未満切捨て

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	銘柄	運用会社	資産運用関係費用(年率)*1
日本株式 MA	ブラックロック日本株式オープン	ブラックロック・ジャパン	1.683% (税込) 程度
日本株式中小型 MA	ブラックロック日本小型株オープン	ブラックロック・ジャパン	1.793% (税込) 程度
日本株式成長型 FA	フィデリティ・日本成長株・ファンド	フィデリティ投信	1.683% (税込) 程度
世界株式 AA	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ（年金つみたて向け）	アライアンス・バーンスタイン	1.595% (税込) 程度
世界債券ヘッジ型 MA	JDF ワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジあり)	ブラックロック・ジャパン	0.528% (税込) 程度
世界債券フリー型 MA	JDF ワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジなし)	ブラックロック・ジャパン	0.528% (税込) 程度
グローバル・バランス GA	ダ・ヴィンチ VA	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	0.99% (税込) 程度
世界バランス FA	フィデリティ・バランス・ファンド	フィデリティ投信	最大年率1.68% (税込) 程度
米ドル・マネー MA	ブラックロック・グローバル・インベストメント・シリーズ - スーパー・マネー・マーケット・ファンド	ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク	0.5%程度
マネー・プール A	特に定めません	特に定めません	0.06%以内 金利情勢、投資対象とする短期金融商品によって変動します。

*1 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。
また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

特別勘定について

基本情報

- 【特別勘定の設定日】2002年11月27日
- 【資産分類】日本株式
- 【運用方針】
日本の株式の中から、企業の収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して選定した銘柄に分散投資することにより、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- 【投資対象となる投資信託】
ブラックロック日本株式オープン

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 3月31日	110.88	—
2024年 3月31日	160.71	4.60%
4月30日	157.28	-2.13%
5月31日	162.74	3.47%
6月30日	165.48	1.68%
7月31日	162.44	-1.83%
8月31日	156.61	-3.59%
9月30日	159.76	2.01%
10月31日	156.48	-2.05%
11月30日	157.26	0.50%
12月31日	164.78	4.79%
2025年 1月31日	161.29	-2.12%
2月28日	157.08	-2.61%
3月31日	159.68	1.66%
3ヶ月変化率		-3.09%
6ヶ月変化率		-0.05%
1年変化率		-0.64%
3年変化率		44.02%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	5	1.6%
有価証券等		
ブラックロック日本株式オープン	316	98.4%
その他	—	—
資産合計	321	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	321	100.0%

投資対象となる投資信託について

ブラックロック日本株式オープンの基本情報

- 【運用会社】ブラックロック・ジャパン
- 【運用対象】日本株式
- 【ベンチマーク】東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

運用状況

■市場別構成比 (2025.3末現在)

市場	構成比
東証プライム	96.6%
東証スタンダード	1.3%
キャッシュ等	2.2%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■上位10業種構成比 (2025.3末現在)

業種	構成比
1 電気機器	21.5%
2 輸送用機器	9.7%
3 銀行業	9.7%
4 機械	9.3%
5 化学	7.1%
6 医薬品	5.1%
7 建設業	4.2%
8 保険業	3.5%
9 その他製品	3.5%
10 その他金融業	3.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄 (2025.3末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	5.3%
2 ソニーグループ	電気機器	5.0%
3 トヨタ自動車	輸送用機器	4.0%
4 東京海上HD	保険業	3.5%
5 日立	電気機器	3.4%
6 日王	化学	2.9%
7 任天堂	その他製品	2.7%
8 第一三共	医薬品	2.6%
9 東レ	繊維製品	2.6%
10 キヤノン	電気機器	2.3%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 53)

・当資料は、投資型年金II(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金II(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することとなります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかには保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

日本株式中小型MA (2025年3月末現在)

特別勘定について

基本情報

- 【特別勘定の設定日】2002年11月27日
- 【資産分類】日本株式
- 【運用方針】日本の株式の中から、成長性、収益性に富む中小型株を中心に運用することにより、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- 【投資対象となる投資信託】ブラックロック日本小型株オープン

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 3月31日	224.36	—
2024年 3月31日	292.54	4.69%
4月30日	290.08	-0.84%
5月31日	288.19	-0.65%
6月30日	300.14	4.15%
7月31日	295.09	-1.68%
8月31日	295.67	0.20%
9月30日	304.01	2.82%
10月31日	294.10	-3.26%
11月30日	300.61	2.21%
12月31日	312.94	4.10%
2025年 1月31日	304.17	-2.80%
2月28日	298.77	-1.78%
3月31日	307.89	3.05%
3ヶ月変化率		-1.61%
6ヶ月変化率		1.28%
1年変化率		5.25%
3年変化率		37.23%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位: 百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	3	1.0%
有価証券等		
ブラックロック日本小型株オープン	324	97.9%
その他	3	1.1%
資産合計	331	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	331	100.0%

投資対象となる投資信託について

ブラックロック日本小型株オープンの基本情報

- 【運用会社】ブラックロック・ジャパン
- 【運用対象】日本株式
- 【ベンチマーク】ラッセル野村・ミッドスマールキャップ・インデックス (配当込み)

運用状況

■市場別組入比率 (2025.3末現在)

市場	構成比
東証プライム	83.9%
東証スタンダード	10.7%
東証グロース	1.4%
キャッシュ等	4.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位10業種 (2025.3末現在)

業種	構成比
1 情報・通信業	11.0%
2 化学	10.6%
3 小売業	9.7%
4 電気機器	7.1%
5 銀行業	6.0%
6 建設業	5.7%
7 機械	5.6%
8 不動産業	4.4%
9 サービス業	4.4%
10 陸運業	3.7%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄 (2025.3末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 田岡化学	化学	2.5%
2 五洋建設	建設業	2.3%
3 南海電鉄	陸運業	2.0%
4 日本電気	電気機器	1.8%
5 光通信	情報・通信業	1.8%
6 T I S	情報・通信業	1.8%
7 熊谷組	建設業	1.8%
8 サンドラッグ	小売業	1.7%
9 T B Sホールディングス	情報・通信業	1.6%
10 長谷工コーポレーション	建設業	1.6%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 102)

・当資料は、投資型年金II(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金II(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することとなります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

日本株式成長型FA (2025年3月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年12月2日
 【資産分類】日本株式
 【運用方針】
 日本の株式の中で、将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。
 【投資対象となる投資信託】
 フィデリティ・日本成長株・ファンド

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 3月31日	220.65	—
2024年 3月31日	271.14	3.05%
4月30日	264.07	-2.61%
5月31日	266.68	0.99%
6月30日	274.22	2.83%
7月31日	270.47	-1.37%
8月31日	260.31	-3.76%
9月30日	268.31	3.08%
10月31日	260.48	-2.92%
11月30日	257.15	-1.28%
12月31日	268.78	4.52%
2025年 1月31日	263.60	-1.93%
2月28日	256.49	-2.70%
3月31日	260.96	1.75%
3ヶ月変化率		-2.91%
6ヶ月変化率		-2.74%
1年変化率		-3.75%
3年変化率		18.27%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	3	1.5%
有価証券等		
フィデリティ・日本成長株・ファンド	196	98.5%
その他	—	—
資産合計	199	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	199	100.0%

投資対象となる投資信託について

フィデリティ・日本成長株・ファンドの基本情報

【運用会社】フィデリティ投信
 【運用対象】日本株式
 【ベンチマーク】TOPIX (配当金込)

運用状況

■市場別構成比 (2025.3末現在)

市場	構成比
東証プライム	96.3%
東証スタンダード	1.4%
東証グロース	0.4%
その他市場	—
現金・その他	1.8%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■上位5業種構成比 (2025.3末現在)

業種	構成比
1 電気機器	19.5%
2 銀行業	11.6%
3 輸送用機器	8.4%
4 小売業	6.6%
5 卸売業	5.7%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄 (2025.3末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 ソニーグループ	電気機器	5.1%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	5.1%
3 日立製作所	電気機器	3.9%
4 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.7%
5 東京海上ホールディングス	保険業	2.9%
6 伊藤忠商事	卸売業	2.8%
7 キーエンス	電気機器	2.7%
8 豊田自動織機	輸送用機器	2.6%
9 トヨタ自動車	輸送用機器	2.6%
10 リクルートホールディングス	サービス業	2.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 169)

【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.3末現在)

当月の東京株式市場は、前月に続いて米国の追加関税が世界経済に与える影響が懸念され、上値の重い推移となりました。中国に対する関税引き上げや、カナダ・メキシコに対する追加関税の発動など、トランプ政権が打ち出す関税政策に対する警戒感が高まる中で、株価は軟調に始まりました。しかし、カナダ・メキシコに対する関税に猶予措置が取られたことや、為替が円安方向に振れたことなどから、中旬には日本株は上昇に転じ、調整色を強めていた米国株が持ち直したことも支えとなって、TOPIXは2024年7月以来となる高値水準を回復しました。月末近くには、米政権が発表した輸入自動車に対する追加関税に加え、全世界を対象として貿易相手国と同水準まで関税率を引き上げる相互関税などが世界経済に与える影響が警戒され、株価は大きく下落して月を終えました。長期金利上昇を背景に上昇した金融株などが支えとなって底堅く推移したTOPIXに対し、米中対立が懸念された半導体関連株の株価調整が響いた日経平均株価は弱含み、両指数の月間の動きには差が見られました。月間の騰落率は、TOPIX (配当込) が+0.22%、日経平均株価は-4.14%でした。

・当資料は、投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
 ・投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することとなります。
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年11月27日

【資産分類】世界株式

【運用方針】

世界各国の株式の中から成長の可能性が高い「産業セクター」を選定し、その中から成長性の高いと思われる銘柄に分散投資することにより、長期的に信託財産の成長を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。

【対象投資信託】

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年金つみたて向け)

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比	円/ドル
2022年 3月31日	260.92	—	122.39
2024年 3月31日	314.55	1.51%	151.41
4月30日	307.34	-2.29%	156.90
5月31日	322.83	5.04%	156.74
6月30日	333.56	3.32%	161.07
7月31日	323.25	-3.09%	152.44
8月31日	313.54	-3.00%	144.80
9月30日	321.84	2.65%	142.73
10月31日	334.40	3.90%	153.64
11月30日	327.87	-1.95%	150.74
12月31日	330.52	0.81%	158.18
2025年 1月31日	327.78	-0.83%	154.43
2月28日	306.65	-6.45%	149.67
3月31日	295.12	-3.76%	149.52

3ヶ月変化率	-10.71%
6ヶ月変化率	-8.30%
1年変化率	-6.18%
3年変化率	13.11%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位: 百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	15	1.9%
有価証券等		
アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年金つみたて向け)	762	98.1%
その他	—	—
資産合計	777	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	777	100.0%

投資対象となる投資信託について

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年金つみたて向け)の基本情報

【運用会社】アライアンス・バーンスタイン

【運用対象】日本を含む世界主要国の株式

【ベンチマーク】MSCI-WORLD(円換算)

運用状況

■株式国別配分上位 (2025.3末現在)

国名	組入比率
アメリカ	56.9%
ブラジル	6.6%
イギリス	6.4%
カナダ	4.1%
日本	4.1%
スイス	3.3%
アイルランド	3.2%
台湾	2.9%
香港	2.2%
オランダ	1.9%

※実質組入比率を記載しています。

■業種別内訳 (2025.3末現在)

業種	組入比率
情報技術	30.5%
資本財・サービス	19.8%
金融	18.2%
ヘルスケア	14.7%
一般消費財・サービス	6.0%
公益事業	4.8%
エネルギー	2.5%

※実質組入比率を記載しています。

■株式組入上位10銘柄 (2025.3末現在)

銘柄	国名	組入比率
1 マイクロソフト	アメリカ	3.6%
2 ロンドン証券取引所グループ	イギリス	2.9%
3 ファイザー	アメリカ	2.9%
4 台湾セミコンダクター	台湾	2.9%
5 アルコン	アメリカ	2.7%
6 フレックス	アメリカ	2.6%
7 カメコ	カナダ	2.5%
8 ベラルト	アメリカ	2.5%
9 メルカドリブレ	ブラジル	2.5%
10 ネクステラ・エナジー	アメリカ	2.5%

※実質組入比率を記載しています。

(銘柄数 51)

【運用会社による投資信託へのコメント】(2025.3末現在)

2025年3月の世界の株式市場は前月末比で下落しました(米ドルベース)。米国株式市場は、トランプ政権による関税措置の発動により、貿易相手国との対立激化から米国景気が低迷し物価が上昇するとの懸念が強まり、下落しました。中旬には、米政府機関の閉鎖が回避されたことや、3月の米連邦公開市場委員会(FOMC)を無難に通過したことがプラスに働き反発しましたが、月末にかけては、輸入自動車への追加関税の発表に加え、発表された経済指標から米国の成長鈍化とインフレ高進への懸念が高まり、再び下落基調となりました。欧州株式市場は、米国の関税措置発動により景気が減速するとの懸念から、投資家のリスク回避姿勢が強まりました。中旬には、ドイツの財政拡張パッケージ法案の可決などが好感されて反発する場面があったものの、月末にかけては、米国による輸入自動車への追加関税の発表により貿易戦争がさらに拡大するとの懸念から再び下落しました。日本株式市場は、上旬は米国の関税政策への懸念から軟調に推移したものの、中旬以降は、為替市場で円安米ドル高に反転したことから堅調に推移しました。しかし月末には、米国の関税政策の影響で世界的な景気減速懸念が強まったことから急落し、東証株価指数(TOPIX)は前月末比小幅安の水準まで押し戻されました。

・当資料は、投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としています。当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することとなります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

世界債券ヘッジ型MA (2025年3月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年11月27日

【資産分類】世界債券

【運用方針】

日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

【投資対象となる投資信託】

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）

■ユニットプライスの推移



■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	0	1.8%
有価証券等		
JDFワールド・ボンド・ファンド (為替ヘッジあり)	25	78.9%
その他	6	19.3%
資産合計	32	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	32	100.0%

	ユニットプライス	前月比
2022年 3月31日	78.77	—
2024年 3月31日	65.89	0.52%
4月30日	64.17	-2.62%
5月31日	63.99	-0.27%
6月30日	64.50	0.79%
7月31日	64.95	0.69%
8月31日	65.47	0.81%
9月30日	65.62	0.22%
10月31日	64.45	-1.78%
11月30日	64.51	0.09%
12月31日	63.71	-1.25%
2025年 1月31日	63.35	-0.55%
2月28日	63.70	0.55%
3月31日	62.84	-1.35%
3ヶ月変化率		-1.37%
6ヶ月変化率		-4.24%
1年変化率		-4.64%
3年変化率		-20.23%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）の基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン

【運用対象】日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債

【ベンチマーク】FTSE世界国債インデックス（円ヘッジ 円ベース）

運用状況

■国別通貨別構成比率 (2025.3末現在)

	ベンチマーク	債券	通貨
米国	42.8%	46.3%	-2.6%
カナダ	1.8%	1.0%	0.0%
メキシコ	0.7%	0.6%	0.1%
日本	9.9%	8.9%	98.7%
オーストラリア	1.1%	0.8%	0.0%
ニュージーランド	0.3%	—	—
シンガポール	0.4%	0.6%	0.1%
中国	10.2%	10.2%	0.1%
マレーシア	0.5%	0.7%	0.7%
韓国	—	2.5%	2.5%
ユーロ	26.5%	28.7%	0.3%
英国	4.8%	5.0%	0.1%
デンマーク	0.2%	0.3%	-0.0%
スウェーデン	0.2%	0.4%	0.1%

	ベンチマーク	債券	通貨
スイス	—%	—%	0.0%
ポーランド	0.6%	0.7%	0.1%
フルウェー	0.1%	0.2%	0.0%
チェコ	—%	—%	0.0%
イスラエル	0.3%	—%	—%
キャッシュ等		-6.9%	
合計	100.0%	100.0%	100.0%

※ベンチマークはFTSE世界国債インデックス2025年4月の構成比率

※債券は発行国ベース、債券先物と金利先物（先物の売建てはマイナス表示）を含みます

※通貨は実質為替組入比率

※比率は対純資産総額、マザーファンドベース

■組入上位10銘柄 (2025.3末現在)

銘柄名	利率	償還年月日	構成比
1 フランス国債	2.750	2030/2/25	3.8%
2 日本国債	0.100	2031/9/20	3.5%
3 アメリカ国債	4.125	2027/1/31	2.9%
4 韓国国債	2.875	2026/9/10	2.5%
5 ドイツ国債	2.000	2026/12/10	2.3%
6 アメリカ特殊債	6.000	2025/4/14	2.2%
7 イタリア国債	3.650	2035/8/1	2.1%
8 イタリア国債	3.000	2029/8/1	1.4%
9 ドイツ国債	2.200	2034/2/15	1.4%
10 スペイン国債	3.150	2035/4/30	1.2%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 301）

修正デュレーション＝平均7.03年（ベンチマーク＝同6.84年）

・当資料は、投資型年金II（新変額個人年金保険GF）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
 ・投資型年金II（新変額個人年金保険GF）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することとなります。
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

世界債券フリー型MA (2025年3月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年11月27日

【資産分類】世界債券

【運用方針】

日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとし、原則として為替ヘッジは行いません。

【投資対象となる投資信託】

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

■ユニットプライスの推移



(円/ドルの為替レートは、7ページに掲載しています)

	ユニットプライス	前月比
2022年 3月31日	104.13	-
2024年 3月31日	108.97	1.29%
4月30日	108.75	-0.20%
5月31日	110.31	1.44%
6月30日	112.99	2.43%
7月31日	110.57	-2.14%
8月31日	107.04	-3.20%
9月30日	108.66	1.51%
10月31日	110.60	1.79%
11月30日	108.95	-1.49%
12月31日	111.35	2.21%
2025年 1月31日	109.15	-1.98%
2月28日	106.78	-2.17%
3月31日	107.67	0.84%
3ヶ月変化率		-3.31%
6ヶ月変化率		-0.91%
1年変化率		-1.19%
3年変化率		3.40%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	1	1.5%
有価証券等		
JDFワールド・ボンド・ファンド (為替ヘッジなし)	119	98.5%
その他	-	-
資産合計	121	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	121	100.0%

投資対象となる投資信託について

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）の基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン

【運用対象】日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債

【ベンチマーク】FTSE世界国債インデックス（円ベース）

運用状況

■国別通貨別構成比率 (2025.3末現在)

	ベンチマーク	債券	通貨
米国	42.8%	47.7%	37.9%
カナダ	1.8%	1.3%	1.8%
メキシコ	0.7%	0.9%	0.7%
南アフリカ	-	-	0.0%
日本	9.9%	11.2%	12.3%
オーストラリア	1.1%	1.1%	1.1%
ニュージーランド	0.3%	-	0.2%
シンガポール	0.4%	0.5%	0.4%
中国	10.2%	9.9%	10.1%
マレーシア	0.5%	0.7%	0.7%
韓国	-	2.4%	2.4%
ユーロ	26.5%	30.8%	26.4%
英国	4.8%	5.0%	4.7%
デンマーク	0.2%	0.3%	0.2%

	ベンチマーク	債券	通貨
スウェーデン	0.2%	0.3%	0.2%
スイス	-	-	0.0%
ポーランド	0.6%	0.5%	0.5%
ノルウェー	0.1%	0.3%	0.2%
チェコ	-	-	0.1%
イスラエル	0.3%	-	0.3%
キャッシュ等		-12.8%	
合計	100.0%	100.0%	100.0%

※ベンチマークはFTSE世界国債インデックス2025年4月の構成比率

※債券は発行国ベース、債券先物と金利先物（先物の売建てはマイナス表示）を含みます

※通貨は実質為替組入比率

※比率は対純資産総額、マザーファンドベース

■組入上位10銘柄 (2025.3末現在)

銘柄名	利率	償還年月日	構成比
1 日本国債	0.100	2031/9/20	3.9%
2 フランス国債	2.750	2030/2/25	3.0%
3 アメリカ国債	4.125	2027/1/31	3.0%
4 韓国国債	2.875	2026/9/10	2.4%
5 アメリカ国債	4.000	2029/7/31	2.3%
6 アメリカ特殊債	6.000	2025/4/14	2.2%
7 フランス国債	2.750	2029/2/25	2.1%
8 イタリア国債	3.650	2035/8/1	2.1%
9 アメリカ国債	4.375	2034/5/15	2.0%
10 アメリカ国債	4.125	2027/2/28	1.9%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 252）

修正デュレーション＝平均7.05年（ベンチマーク＝同6.84年）

・当資料は、投資型年金II（新変額個人年金保険GF）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
 ・投資型年金II（新変額個人年金保険GF）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することとなります。
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

グローバル・バランスGA (2025年3月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】 2011年5月25日

【資産分類】 バランス

【運用方針】

日本を含む世界の株式、債券、円短期金融商品を主要投資対象とし、独自の計量モデルによるアクティブ運用を行い、長期的に安定した運用成果を目指します。原則として為替ヘッジを行います。

【投資対象となる投資信託】

ダ・ヴィンチVA

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 3月31日	115.82	—
2024年 3月31日	112.04	2.33%
4月30日	108.76	-2.93%
5月31日	109.84	1.00%
6月30日	110.50	0.60%
7月31日	110.96	0.42%
8月31日	111.29	0.29%
9月30日	112.94	1.49%
10月31日	111.11	-1.62%
11月30日	112.53	1.28%
12月31日	111.57	-0.85%
2025年 1月31日	111.84	0.24%
2月28日	111.76	-0.07%
3月31日	109.51	-2.02%
3ヶ月変化率		-1.85%
6ヶ月変化率		-3.04%
1年変化率		-2.26%
3年変化率		-5.45%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	0	1.3%
有価証券等		
ダ・ヴィンチVA	71	98.7%
その他	—	—
資産合計	72	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	72	100.0%

投資対象となる投資信託について

ダ・ヴィンチVAの基本情報

【運用会社】 ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

【運用対象】 日本を含む世界各国の株式・債券および円短期金融商品を主要投資対象とします。(株式先物・債券先物取引等を含みます。)

【ベンチマーク】 MSCIワールド・インデックス40%+JPモルガン・ガバメントボンド・インデックス(グローバル)40%(ともに100%為替円ヘッジ、円ベース)+日本円1か月TIBOR20%

運用状況

■資産構成 (2025.3末現在)

	構成比
世界株式	45.9%
世界債券	27.3%
円短期金融商品	26.9%
合計	100.0%

【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.3末現在)

<資産クラス間配分>

資産クラス間配分では、世界株式はモメンタムの観点で評価が高いことから、円短期金融商品に対して強気の見通しとしている。世界債券はモメンタムの観点で評価が低いことから、円短期金融商品に対して弱気の見通しとしている。大型株/小型株の配分に関しては、モメンタムの観点から中立の見通しとしている。一般優良株/テクノロジー株間の配分に関しては、モメンタムの観点から中立の見通しとしている。

<株式国別配分>

株式国別配分においては、スペインやカナダに対して強気の見通しとする一方で、アメリカやオーストラリアに対して弱気の見通しとしている。スペインに対しては、リスクプレミアムおよびモメンタムの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。カナダに対しては、マクロおよびモメンタムの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、アメリカに対しては、バリュエーションおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。オーストラリアに対しては、リスクプレミアムおよびモメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

<債券国別配分>

債券国別配分においては、オーストラリアやカナダに対して強気の見通しとする一方で、イギリスやフランスに対して弱気の見通しとしている。オーストラリアに対しては、モメンタムの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。カナダに対しては、マクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、イギリスに対しては、モメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。フランスに対しては、マクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

<通貨配分>

通貨配分においては、ノルウェーやアメリカに対して強気の見通しとする一方で、ニュージーランドやオーストラリアに対して弱気の見通しとしている。ノルウェーに対しては、マクロおよびバリュエーションの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。アメリカに対しては、ファンダメンタルズで評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、ニュージーランドに対しては、マクロおよびモメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。オーストラリアに対しては、マクロおよびモメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

・当資料は、投資型年金II(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金II(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

世界バランスFA (2025年3月末現在)

特別勘定について

基本情報

- 【特別勘定の設定日】2002年12月2日
- 【資産分類】 バランス
- 【運用方針】
日本を含む世界各国の株式、債券、短期金融商品に分散投資を行います。原則として為替ヘッジは行いません。
- 【投資対象となる投資信託】
フィデリティ・バランス・ファンド

■ユニットプライスの推移



(円/ドルの為替レートは、7ページに掲載しています)

	ユニットプライス	前月比
2022年 3月31日	154.76	-
2024年 3月31日	183.60	2.71%
4月30日	181.07	-1.38%
5月31日	186.06	2.76%
6月30日	191.44	2.89%
7月31日	187.43	-2.09%
8月31日	182.85	-2.45%
9月30日	185.95	1.69%
10月31日	188.96	1.62%
11月30日	187.85	-0.58%
12月31日	192.06	2.24%
2025年 1月31日	189.03	-1.58%
2月28日	181.93	-3.75%
3月31日	183.42	0.82%

3ヶ月変化率 -4.50%
6ヶ月変化率 -1.36%
1年変化率 -0.10%
3年変化率 18.52%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位: 百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	7	1.6%
有価証券等		
フィデリティ・バランス・ファンド	438	98.4%
その他	-	-
資産合計	445	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	445	100.0%

投資対象となる投資信託について

フィデリティ・バランス・ファンドの基本情報

- 【運用会社】 フィデリティ投信
- 【運用対象】 日本を含む世界各国の株式、債券、短期金融商品
- 【ベンチマーク】 複合インデックス (円ベース)
 - TOPIX (配当金込) (25%)
 - MSCIワールド・インデックス (除く日本/税引前配当金込) (25%)
 - プルーフバーグ・グローバル総合インデックス (為替ヘッジなし、円ベース) (50%)

運用状況

■株式 (2025.3末現在)

組入投資信託証券	構成比
フィデリティ・ジャパン・サステナブル・グロース・ファンド (適格機関投資家専用)	25.6%
フィデリティ・ファンズ・アメリカン・グロース・ファンド	21.3%
フィデリティ・ファンズ・ヨーロッパ・ダイナミック・グロース・ファンド	2.7%
フィデリティ・ファンズ・ヨーロッパ・スモール・カンパニーズ・ファンド	0.7%
フィデリティ・ファンズ・アジア・パシフィック・オポチュニティーズ・ファンド	0.5%
フィデリティ・ファンズ・アジア株式・ESGファンド	0.2%
合計	50.9%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位5ヶ国・地域 (2025.3末現在)

国名	構成比
1 アメリカ	43.6%
2 日本	26.0%
3 ドイツ	9.9%
4 イギリス	5.3%
5 中国	2.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■債券・短期金融資産等 (2025.3末現在)

組入投資信託証券	構成比
フィデリティ・インスティテュショナル・グローバル・ボンド・ファンド (除く日本円、為替ヘッジなし、適格機関投資家転売制限付き)	45.4%
iシェアーズ・コア 日本国債 ETF	1.0%
合計	46.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位5通貨 (2025.3末現在)

通貨	構成比
1 アメリカドル	51.7%
2 日本円	26.0%
3 ユーロ	10.6%
4 イギリス・ポンド	4.3%
5 中国元	2.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

・当資料は、投資型年金II(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金II(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することとなります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】 2003年4月22日

【資産分類】 短期金融商品

【運用方針】

短期の市場性を有する有価証券および金融市場証券に分散投資し、米ドル・ベースでの元本、流動性および最大限の収益の確保を追求することを目指します。

【投資対象となる投資信託】

ブラックロック・グローバル・インベストメント・シリーズ
ー スーパー・マネー・マーケット・ファンド

■ユニットプライスの推移



(円/ドルの為替レートは、7ページに掲載しています)

	ユニットプライス	前月比
2022年 3月31日	83.68	—
2024年 3月31日	106.66	0.70%
4月30日	110.79	3.87%
5月31日	110.94	0.14%
6月30日	114.19	2.93%
7月31日	108.47	-5.01%
8月31日	103.36	-4.71%
9月30日	102.15	-1.17%
10月31日	110.09	7.77%
11月30日	108.23	-1.69%
12月31日	113.68	5.04%
2025年 1月31日	111.24	-2.14%
2月28日	108.06	-2.86%
3月31日	108.13	0.07%
3ヶ月変化率		-4.88%
6ヶ月変化率		5.86%
1年変化率		1.38%
3年変化率		29.22%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位: 百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	0	2.2%
有価証券等		
ブラックロック・グローバル・インベストメント・シリーズ ー スーパー・マネー・マーケット・ファンド	3	97.8%
その他	—	—
資産合計	3	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	3	100.0%

投資対象となる投資信託について

ブラックロック・グローバル・インベストメント・シリーズ スーパー・マネー・マーケット・ファンドの基本情報

【運用会社】 ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク

【運用対象】 短期金融商品 (米ドル建て)

【ベンチマーク】 特に定めなし

運用状況

■ポートフォリオ構成 (2025.3末現在)

	構成比
レボ	91.4%
CP	46.3%
政府機関債	7.2%
現金等	-44.9%

・当資料は、投資型年金II(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
 ・投資型年金II(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することとなります。
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】 2002年11月27日

【資産分類】 短期金融商品

【運用方針】

円建ての預貯金、短期金融商品を中心に運用を行います。流動性に十分配慮し、リスクを抑えた安定的な運用を行います。

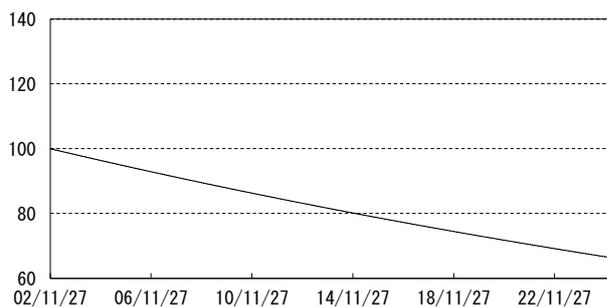
【投資対象】 短期金融商品

特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	71	100.0%
有価証券等	—	—
その他	—	—
資産合計	71	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	71	100.0%

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 3月31日	70.03	—
2024年 3月31日	67.50	-0.16%
4月30日	67.40	-0.15%
5月31日	67.29	-0.16%
6月30日	67.19	-0.15%
7月31日	67.08	-0.16%
8月31日	66.98	-0.16%
9月30日	66.88	-0.15%
10月31日	66.77	-0.16%
11月30日	66.67	-0.15%
12月31日	66.57	-0.16%
2025年 1月31日	66.46	-0.16%
2月28日	66.37	-0.14%
3月31日	66.27	-0.16%
3ヶ月変化率		-0.45%
6ヶ月変化率		-0.91%
1年変化率		-1.82%
3年変化率		-5.38%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

※マーケットの先行きが著しく読みにくい局面等で資金を一時的に待避させる目的でご利用ください。

・当資料は、投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
 ・投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することとなります。
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

投資リスクについて

この商品は、将来受け取る年金額、解約払戻金額、死亡保険金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険です。特別勘定は投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、年金、解約払戻金等のお受け取り金額が、お支払いいただいた保険料の合計額を下回る可能性があります。

ご負担いただく費用について

■運用期間中の費用（すべてのご契約者にご負担いただく費用）

項目	費用
保険関係費用(保険契約管理費)	特別勘定の純資産総額に対して年率1.84%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.793%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.3の「特別勘定の内容」をご覧ください。

■お取引の内容による費用（特定の取引のご契約者にご負担いただく費用）

項目	適用	費用
積立金移転費用	1保険年度12回を超える積立金の移転の際	1保険年度に12回までの移転…無料 1保険年度に12回を超える移転…1回につき1,000円
契約者貸付利息	契約者貸付を受けたとき	貸付金額に対して年率1.84%
解約控除	解約するとき	積立金額に対して7%～2%(経過年数に応じて)
	減額するとき	減額に相当する積立金額に対して7%～2%(経過年数に応じて)

■年金支払期間中の費用（将来、以下の内容が変更になることがあります）

●保証期間付終身年金、確定年金の場合

項目	適用	費用
保険関係費用(年金管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	年金額に対して1.0%以内 (毎年の年金支払日に責任準備金から控除します)

●特別勘定年金の場合

項目	適用	費用
保険関係費用 (年金管理費)	特別勘定年金の維持管理等に必要な費用(基本保険金額を最低保証するための費用および災害死亡保険金などの費用を除きます)	特別勘定の純資産総額に対して年率1.17%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	保険関係費用(年金管理費)以外で、特別勘定の運用に係わる費用として支払われます。	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.793%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.3の「特別勘定の内容」をご覧ください。

■ご負担いただく費用の合計額について

この商品にかかる費用の合計額は、上記「保険関係費用」、「資産運用関係費用」の合計額となります(ただし、一定期間内の解約については「解約控除」、積立金の移転が1保険年度12回を超えた場合には「積立金移転費用」等が別途かかりますのでご注意ください)。

*資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

ご注意いただきたい事項

- 「投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険(変額個人年金保険)です。
- 「投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)」には投資リスクがあり、投資リスクはご契約者に帰属します。場合によっては将来お受け取りになる金額が、払込保険料総額を下回る可能性があります。

【募集代理店】	【引受保険会社】 東京海上日動あんしん生命保険株式会社 ホームページ https://www.tmn-anshin.co.jp/ ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ ☎ 0120-155-730 受付時間 平日9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。)
---------	---